

暑熱対策をしましょう！（乳用牛編）

今年も暑い夏がやってきました。牛が暑熱ストレスによって受ける影響はたくさん（熱射病、乳房炎、食欲不振による乳量・乳成分の低下、繁殖成績の低下・・・）。少しでも牛たちが快適に過ごせるようにしましょう。

1 体温の上昇を抑えましょう！

外部から熱を入れない

牛体から熱を逃がす

熱発生量の少ない飼料を給与する

2 採食低下による栄養不足を防止しましょう！

飼料から十分なエネルギーを確保する

牛体の健康に注意し、食欲を増進させる

3 乳房炎を予防しましょう！

畜舎や牛体を清潔にし、乳房炎を予防する

4 常に新鮮な水が飲めるようにしましょう！

詳細は裏面へ



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

牛舎を涼しく、風通しよく・・・

- 牛舎の屋根や壁へ断熱材を入れる
- 牛舎の屋根を白く塗る→石灰もOK
- 直射日光を遮る→遮光ネットや植物カーテンを設置する
- 扇風機やダクト送風機で送風
- 細霧装置による散水

防虫ネットを張っている場合は、ほこりで風通しが悪くならないように、定期的にほこりを払いましょう！

牛がばてないために・・・

- 牛体の毛刈り
- 消化のよい良質な粗飼料を給与
 - 粗剛なものほど熱発生量が多いため
- 高エネルギーで嗜好性の高い飼料を給与
- 夜間に飼料給与
- 飼料添加剤(ビタミン、ミネラル等)で食欲増進
- 常に新鮮な水が飲めるようにする **水槽はきれいですか？**

牛が「すごしやすい」と感じるような環境をつくりましょう！



暑熱対策をしましょう！（肉用牛編）

今年も暑い夏がやってきました。牛が暑熱ストレスによって受ける影響はたくさん（熱射病、日増体量の減少、繁殖成績の低下、分娩後の事故発生・・・）。少しでも牛たちが快適に過ごせるようにしましょう。

1 体温の上昇を抑えましょう！

外部から熱を入れない

牛体から熱を逃がす

熱発生量の少ない飼料を給与する

2 採食低下による栄養不足を防止しましょう！

飼料から十分なエネルギーを確保する

牛体の健康に注意し、食欲を増進させる

3 常に新鮮な水が飲めるようにしましょう！

詳細は裏面へ



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

牛舎を涼しく、風通しよく・・・

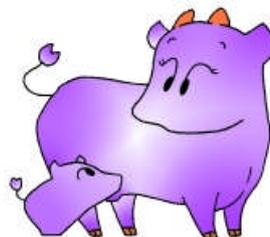
- 牛舎の屋根や壁へ断熱材を入れる
- 牛舎の屋根を白く塗る→石灰もOK
- 直射日光を遮る→遮光ネットや植物カーテンを設置する
- 扇風機やダクト送風機で送風
- 細霧装置による散水

牛がばてないために・・・

- 牛体の毛刈り
- 夜間放牧を実施し、飼育密度を低下する
- 消化のよい良質な粗飼料を給与
 - 粗剛なものほど熱発生量が多いため
- 高エネルギーで嗜好性の高い飼料を給与
- 夜間に飼料給与
- 飼料添加剤(ビタミン、ミネラル等)で食欲増進
- 常に新鮮な水が飲めるようにする

水槽はきれいですか？

牛が「すごしやすい」と感じるような環境をつくりましょう！



暑熱対策をしましょう！（養豚編）

今年も暑い夏がやってきました。豚が暑熱ストレスによって受ける影響はたくさん（死亡、種豚の不受胎、子豚の育成率低下や発育遅延・・・）。少しでも豚たちが快適に過ごせるようにしましょう。

1 室温の管理

- ・ 開放豚舎では、風通しをよくして外気温に近づける
- ・ ウインドレス豚舎では、換気量を増大させる

2 種豚の管理

- ・ 体感温度を低下させるために送風を行う
- ・ 早朝や日没後の涼しい時間帯に飼料給与を行う
- ・ 涼しい時間帯での移動や交配を行う
- ・ 高エネルギーの飼料の給与
- ・ 常時新鮮な水が飲めるように、給水器の点検
- ・ 雄豚は精液性状の確認

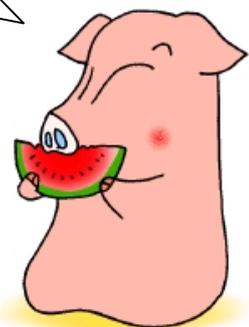
3 肉豚の管理

- ・ 飼育密度の低下（通常の80%）
- ・ 常時新鮮な水が飲めるように、給水器の点検

4 出荷の管理

- ・ 涼しい時間帯での出荷に心がける
- ・ 輸送時に積み込みすぎないようにする

豚が「すごしやすい」と感じるような環境をつくりましょう！



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

暑熱対策をしましょう！（養鶏編）

今年も暑い夏がやってきました。鶏が暑熱ストレスによって受ける影響はたくさん（死亡、採卵鶏では産卵率の低下や卵殻異常、ブロイラーでは日増体量の減少…）。少しでも鶏たちが快適に過ごせるようにしましょう。

1 鶏舎を涼しくしましょう！

- 屋根、壁への断熱材の利用
- 屋根への散水
- 遮光ネット等を利用して、直射日光を遮断する
- ブロイラーでは、飼育密度を下げる



2 鶏舎内の熱を逃がす

- 扇風機、ダクト送風、スポットエアコンによる送風
→体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が効果的
- 細霧装置による散水
→送風機との併用が効果的、湿度管理に注意が必要

3 給餌は早朝や夜間に行い、 常に新鮮な水が飲めるようにしましょう！

昼間に絶食、早朝や夜間に給餌

→日中の高温時の飼料摂取による体内発熱量の増加をさけるため

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp